

『リベル』寸評


- ・ なにかに追われているかのようなサスペンス
- ・ ピアノパートのリズムの工夫がバツグン 特に休符のあつかい
- ・ またピアノの音域利用がよくかんがえられている
- ・ フルートの低音域の凄み 断ち切るような終止 みごと
- ・ サスペンスフルな自由 (=リベル) きょうみぶかいタイトル

完成度をさらに上げるために

- ・ ダイナミックがどこにもついてないのが惜しい しめきりいっぱいあわてずに吟味をつづけよう
- ・ 明確な作品のキャラクターがみとめられるので、発想標語は「自由に」よりも **Molto agitato** などのほうがシックリくる
- ・ m.11 b.3 フルートF#はE#にする←ししゅう音
- ・ m.11 b.1 フルート4つめのEはE#にしたほうがわたしには自然に聞こえる
- ・ m.15-16 たたみかけるような八分音符2つのグループ ここにもアーティキュレーション記号等があつてよい

- ・ m.7 左手の記譜 

- ・ m.9 b.1 両手とも八分音符でいいとおもう

- ・ m.14 右手  第一転回形なので第3音をかさねない

- ・ m.4 b.4 両手ともA#にして明確なドミナントをひびかせたい

- ・ m.11 b.1-2 左手 C#のオクターヴのはず

- ・ m.16 ピアノの二分休符は四分休符2つにしたい←休符をかぞえる際、よりビートを意識する

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいんよくできました。

持魔勉